

1. 単元について

本単元は航空写真や人口分布図などの資料を基に、市や人々の生活の様子が、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解する単元である。交通や公共施設、土地利用や人口、それらの時期による違いに着目して、市や人々の様子を捉え、年表にまとめ、札幌市の移り変わりについて考え、表現していく子を目指す。

2. 単元の目標

- ・聞き取り調査をしたり、地図などの資料などで調べたりして情報を集め、読み取り、市の様子や人々の生活の移り変わりの様子について理解している。（知識・技能）
- ・市の移り変わりをまとめた年表を見直し、札幌市の発展について考える活動を通して、市や人々の様子と交通や公共施設、土地利用や人口とを相互に関連付けながら、札幌市がどのように発展してきたかについて考え、表現している。（思考・判断・表現）
- ・市の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直しをしたりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。また、学習したことを基に、市の発展について市民の一人として願いをもち、協力していこうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）

3. 本単元・本時の主張

◎視点1「本物の経験として表出させる手立て」

○視点2「学びを実感できる振り返り・まとめ」

〈視点1に関わって〉

本単元の学びが「社会に生きて働く本物の経験」となるように、本時では「学びを深める場」として、子どもたちが作ってきた年表を改めて見直す1時間を子どもたちと計画した。子どもたちは、単元の1時間目で、札幌駅前の様子の資料を手掛かりに時間の経過によって、交通や公共施設、土地利用や人口などが変化しているのではないかと予想している。それと同時に時代による変化の大きさの差にも着目している。単元を学習し、学習したことをまとめた年表を総合的に見てみることで、自分たちの予想を確かめたり、新しい問いが生まれたり、それぞれの視点の関連性が見えてくると考えている。

〈視点2に関わって〉

社会科の全単元を通して、学習問題を振り返りの時間に問いかけてきた。振り返りの際に、学習問題を問うことで、単元の学習問題を常に意識しながら学習が進められる。また、毎時間の学習の意味や知識や思考の更新を子どもが実感できることを目指している。そのため、本時でも「札幌市はいつごろ、どのように進化してきたか？」と問いかけ、前時の子どもの振り返りから、札幌オリンピックと市の移り変わりの関連性、交通、公共施設、人口の移り変わりの相互の関係についてふれながら表現する、学びを深める姿を目指す。

4. 単元構成（9時間扱い）

①②札幌駅前の時代ごとの写真を比較し、学習問題をつくり、追究の視点・学習計画を立てる。



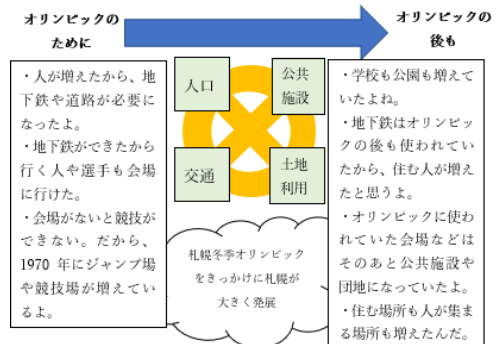
大好きな札幌市は、いつ、どのように変わってきたの？

③④⑤⑥追究の視点について、個別・協働探究を行い、それぞれ年表にまとめる。



⑦年表を基に、社会的事象の意味を考える。本時

なぜ札幌市は1970年から1990年の間に急激に発展したのだろうか？



⑧現在の札幌市の課題をグラフや資料から読み取り、新たな問いが生まれる。

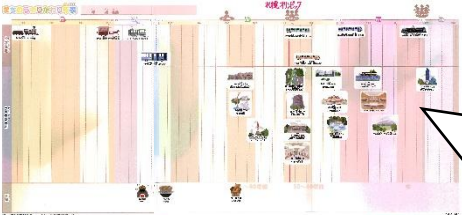
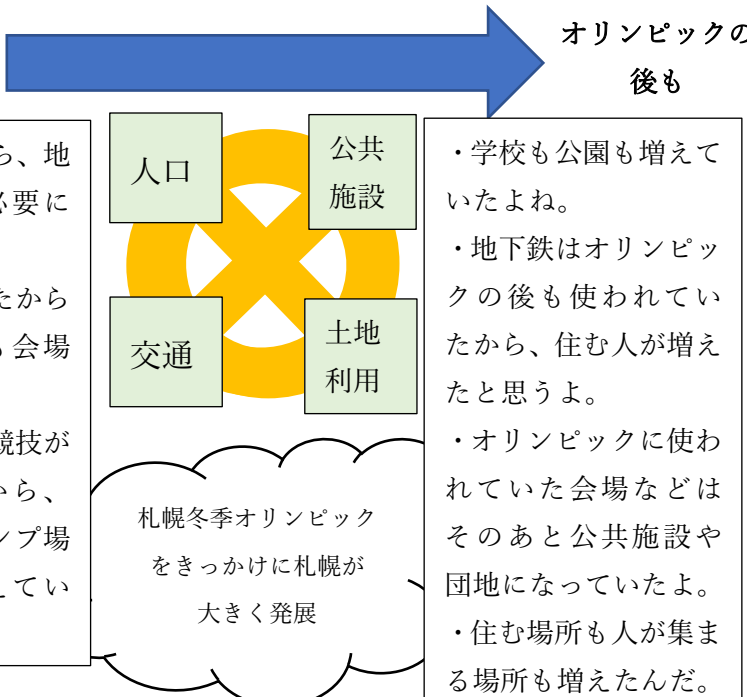
これからの札幌市は、どのように変わっていったらよい？

⑨札幌市の将来について、学習してきたことを基に考え、スライドにまとめ、発表する。

5. 本時の目標

○1970年から1990年の変化を年表から読み取り、なぜ大きな変化があったのかを考える活動を通して、市や人々の様子を交通や公共施設、土地利用や人口を相互に関連付けながら、札幌市の発展について考え、表現している。

6. 本時の展開 (7/9)

子どもの学習活動	教師の手立て
<p>○単元の学習問題について、自分が注目していることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年頃に人口が100万人を超えたんだって。 ・地下鉄ができたことに注目しているよ！だって雪が降っていても乗れるから！ ・土地の使い方がかわって、畑から団地になったり、地下街ができたりしている。 <p>○自分たちでつくってきた年表に注目ポイントを貼ってみよう</p>  <p>やっぱり1970年頃に注目ポイントが集まっているよ！何かあったのかな？オリンピックじゃない？</p> <p>なぜ札幌市は1970年から1990年の間に急激に発展したのだろうか？</p>	<p>自分達が作成してきた年表を改めて見ると、1970年から、交通や公共施設の欄にシールがたくさんあることに気が付く。そこから子どもたちの「何かあったんじゃないか」という問いが生まれ、札幌冬季オリンピックへとつなげる。</p> <p>人口、土地利用、交通、公共施設の4つの追究の視点で学んできたこと、教科書、副読本「みんなの乗り物 公共交通」の記述を基に、1970年から1990年の市の発展について考える。発展について、子どもたちと、道路や地下鉄、公共施設などができて、人口が増えたことだと個別探究の前に共通理解を図る。</p>
<p>○札幌冬季オリンピックがどんな大会だったか確認する。 ○札幌冬季オリンピックと札幌市の変化を関連付けながら、発展の理由を考える。</p> <p>オリンピックの ために</p>  <p>オリンピックの 後も</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が増えたから、地下鉄や道路が必要になったよ。 ・地下鉄ができたから行く人や選手も会場に行けた。 ・会場がないと競技ができない。だから、1970年にジャンプ場や競技場が増えているよ。 <p>札幌冬季オリンピックをきっかけに札幌が大きく発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校も公園も増えていたよね。 ・地下鉄はオリンピックの後も使われていたから、住む人が増えたと思うよ。 ・オリンピックに使われていた会場などはそのあと公共施設や団地になっていたよ。 ・住む場所も人が集まる場所も増えたんだ。 	<p>「オリンピックのために」や「オリンピックの後も」など自分の発言がいつのことなのか、また、4つの視点のどここと関連があるのか意識させながら発言させる。</p> <p>「大好きな札幌市はいつ、どのように変化したのかな？」と単元の学習問題を問いかけて、振り返りを書かせる。オリンピックと札幌市の変化を関連付けたり、4つの視点をつなげて発言したりしている子たちを価値付ける。</p>
<p>○単元の学習問題を振り返る</p> <p>札幌市は1972年に札幌冬季オリンピックを開くために、交通や土地の利用が変化し、札幌市は発展してきた。その後、さらに人口が増え、地下鉄が広がり、公共施設が増えたりして、札幌市が発展していったことが分かった。</p> <p>○年表に注目ポイントとして、今やこれからのことについて残っていることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は増えてはいるけど、最近は減ってきていることが気になっている。 ・高齢者や外国人が増えてるけど、学校の数も減っていたよ。大丈夫かな？ <p>⇒これからの札幌市について、考えてみたくなったぞ。</p>	<p>これからの札幌市について考える次時に向けて、見通しがもてるように、本時を踏まえてできた年表をもう一度見てみることで、令和の部分にまだ考えられていない疑問があることに気が付いていくように促す。</p>